

## 生徒達の頑張りに思う事

今年も残すところ3週間ほどになりました。寒さも厳しさが増してきました。本校では現在、小康状態が続いていますが、今年度はインフルエンザが猛威を振るいそうです。

そのような中、生徒達は部活動やボランティア活動、生徒会活動等に積極的に参加しています。

先日、太白区中央市民センターのミニギャラリーに展示している本校文化部の作品を鑑賞してきました。運動部とは異なり、中総体のような大会等はありませんが、地道に活動している成果が現れていて、とても嬉しく思いました。私が生徒の作品の写真撮影をしていると、地域の方に「長町中学校の先生ですか？」とお声掛けいただき、数分でしたがお話しさせていただきました。「若い子達のこのような作品や活躍は、私達にとって、とても嬉しく癒やされるものですよ。今できる事に一生懸命に取り組んでくれたらいいですね。」と語りかけられました。私自身、文化的な活動の意味を再考する契機ともなりました。生徒達に感謝です。

8日(日)は、楽楽楽ホールで行われた吹奏楽部のコンサートに足を運んでみました。生徒達の「チラシ配り作戦」が功を奏したのか、予想を大きく超えるお客様にご来場いただき、本当に感動しました。演奏を終えた生徒達の表情もとても明るく、さらに嬉しさが倍増しました。これから行われる冬のコンテストや夏のコンクール目指して、一心不乱に練習に励んでほしいと思います。

ご家族や同級生、先輩達だけではなく、数多くの地域の方々にご来場していただいた事に、長町地区の方々の温かさを感じる事ができました。その中で、あるご年配の女性の方が「長町中はいつも、地域のために頑張ってくれているでしょ。だから、私も来てみました。」と、お言葉を掛けていただきました。生徒達の頑張りを地域の方々にご理解いただいている事に、深く感銘を受け、感謝の気持ちが湧き上がります。

7日(土)、8日(日)の両日には、復興公営住宅にお住まいの方々のクリスマス会が開催され、本校の生徒4名がボランティアスタッフとして参加しました。準備や会場の装飾、そして進行のお手伝い等に一生懸命に取り組んでくれました。とても嬉しいです。

生徒会執行部の生徒達は、仙台国際センターで行われた「いじめ防止きずなサミット」に参加したり、仙台市中学校生徒会合同会議に参加したりして、本校の取り組み等を説明し、他校の生徒会の活動の様子等を学んできました。今後、これらの活動での学びを全校生徒の前で発表し、共有してほしいと思います。私自身も彼らから感想を聞いてみたいと思っています。

本校の生徒だけでなく、仙台市の中学生全体が様々な活動に取り組みながら、自分なりに、そして学校全体に役立つ学びを深めています。これらの活動が一つのイベントとして終わる事なく、「一人一人の成長」に役だってくれたらと願わずにはられません。社会を明るく、そしてより良くしていくには、若い世代の力が必要です。自分の取り組んでいる活動が、社会を変えていく力の一つになる事も意識してもらえたら嬉しいです。

そして、何より結果の優劣ではなく、生徒達が何かをしようとしている事や、一つの事に一生懸命に取り組んでいる事を多くの大人が認め、それを心から応援する環境を作っていく事が、今の私達の社会には必要な事なのかもしれません。

保護者の方々が一生懸命に応援してくれて、地域の方々もとても温かく見守ってくれる長町中学校の生徒達、そして私達教職員はとても幸せだと感じます。

